

実り豊かな生活文化都市

中央市

議会だより

2011年3月1日発行

第20号

発行 山梨県中央市議会

発行人 議会議長

編集 議会広報編集委員会



市民スキー・スノーボード教室(爺ガ岳スキー場)

■ 12月定例会で決まったこと	2～3
■ 市長の行政報告	4
■ 一般質問に5議員	5～7
■ 委員会レポート	8～10
■ 新議員が決まりました	11
■ 市民の談話室・編集後記	12

を更新(5年間)

平成二十二年中央市議会第四回定例会は、十二月七日～十七日までの十一日間の日程で開催されました。平成二十二年一般会計補正予算をはじめ、議員提出議案一件、専決処分一件、条例二件、補正予算九件、指定管理者の指定五件、規約改正一件、市道廃止・認定二件、請願二件

が提案され、それぞれ常任委員会に付託し審議しました。最終日に全ての案件について可決し、請願は一件を採択し意見書を提出しました。また、議員提出議案可決により、次回より委員会の委員定数が変更になります。

22年度補正予算

■一般会計(第3号)

- ・補正額 一億七、六三三万円
- ・予算総額 一一六億四、九三七万円(おもな歳出)
- ▼議会費
 - ・議員報酬 一一〇万円
- ▼総務費
 - ・庁舎内案内看板多言語化対応工事 一〇〇万円
 - ・区画整理換地に伴う住所表示変更委託 一二九万円
 - ・田富庁舎正面玄関屋根防水工事 八五万円
 - ▼民生費
 - ・介護保険特別会計 繰出金 三三五万円

・障害者介護給付費

四、一一一万円

・保育対策等促進事業

補助金 九二三万円

・次世代育成支援対策事業

補助金 八〇一万円

・私立保育所運営費

負担金二、四〇四万円

▼衛生費

・子ども医療費助成金支給事業 二、六九〇万円

▼農林水産業費

・県営湛水防除事業負担金 一、九八〇万円

・農業集落排水事業特別会計繰出金

六〇三万円

▼土木費

・道路橋梁維持管理費 一三五万円

・市道玉穂南通り線道路改良事業

二、〇〇〇万円

・下水道事業特別会計

繰出金 一、五五一万円

▼消防費

・消防車両燃料 一五万円

▼教育費

・小中学校空調設備整備基本計画策定業務 一六八万円

・道徳教育用教材活用事業

二〇五万円

・就学援助費

一五〇万円

・中学校語学研修事業委託

六四五万円

▼諸支出金

・財政調整基金積立金 一、八三五万円

▼人件費

・特別職を含む職員の期末・勤勉手当 一、八六七万円(特別会計含む)

■国民健康保険特別会計(第3号)

・補正額 一億一、八七四万円

・予算総額 二九億三、五〇七万円

■介護保険特別会計(第3号)

・補正額 一億七三六万円

・予算総額 一四億八、七四六万円

■地域包括支援センター特別会計(第1号)

・補正額 七八万円

・予算総額 三、三四六万円

■簡易水道事業特別会計(第3号)

・補正額 三三二万円

・予算総額 一億六、〇三〇万円

■下水道事業特別会計(第4号)

・補正額 五八二万円

・予算総額 一一億九、七三三万円

■農業集落排水事業特別会計(第3号)

・補正額 八八万円

・予算総額 二億八、五二九万円

■土地区画整理事業特別会計(第2号)

・補正額 六〇〇万円

・予算総額 一億六、〇二七万円

■上水道事業会計(第3号)

・収益的支出 五〇二万円

・補正額 三億一、二四四万円

■条例の改正

・職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員給与条例中改正

・一般職の国家公務員の勤務時間の短縮等にかんがみ、所要の改正を行うもの。

・生活安全条例中改正

・犯罪被害者等に対する支援をより一層推進し、安全で住みよい地域社会を実現するため、所要の改正を行うもの。

指定管理

指定管理者の指定

- ・与一弓道場
- ・豊富郷土資料館
- ・交流促進センター・農産物直売所・農畜産物処理加工施設
- ・シルク工芸館ふれあい館
- ・豊富シルクの里公園
- ▼指定管理者となる団体の名称
- ・財団法人シルクの里振興公社
- ▼指定の期間
- ・平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

規約の変更

- 甲府地区広域行政事務組合規約の変更
- ・「広域行政圏計画策定要綱」と「ふるさと市町村圏推進要綱」の廃止に伴い、第四次計画の甲府地区ふるさと市町村圏計画が今年度で終了するため、それに代わる地域づくり推進事業として、甲府地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏基金を活用した事業を実施するための規約変更

道路線廃止の件

- ・医大南部土地区画整理事業及び臼井阿原地区の宅地開発により、既認定路線の廃止を行う必要があるため。

道路線認定の件

- ・医大南部土地区画整理事業、下河東及び臼井阿原地区の宅地開発により当該路線の認定を行う必要があるため。

議員提出議案第3号

- ▼議会委員会条例改正
- ・総務教育常任委員会の定数を八人から六人。
- ・厚生常任委員会の定数を七人から六人。
- ・産業土木常任委員会の定数を七人から六人に改めるもの。

請願

教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願

▼請願者

中央市PTA連絡協議会

会長 中沢 安博

中央市公立小中学校長会

会長 松村 正広

中央市公立小中学校教頭会

会長 米山 哲雄

山梨県教職員組合中巨摩支部

執行委員長 金井 哲也

▼紹介議員

小池 満男

▼要旨

本県では、「個性を活かし、生きる力をはぐくむ『やまなし』人づくり」を県政教育の基本に据え、少人数教育の推進など学校教育の充実を図る施策を積極的に展開しており、今後、本県の財政状況に左右されず、「やまなし教育」が一層充実・発展するため、義務教育費国庫負担制度が堅持されるとともに、国による教育予算の拡充と教職員定数の改善が図られるよう、意見書の提出を求めるもの。

ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）総合対策を求める意見書の提出を求める請願

▼請願者

中央市中楯1105-1

平沢 理恵

▼紹介議員

野中つね子

▼要旨

政府において、医療関係者のカウンセリング研修、キャリア妊婦等の相談体制の充実を図るとともに、診療拠点病院の整備、予防・治療法研究開発、国民への正しい知識の普及啓発など総合的な対策の推進を図り、ヒトT細胞白血病ウイルス1型の感染拡大防止に伴う「HTLV-1総合対策」を推進するよう、意見書の提出を求めるもの。

この請願は、厚生常任委員会での審査の結果、継続審査となりました。

意見書

教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書
請願と趣旨

国の経済状況を見守りながら 情報収集に努め 地域づくりを推進していきます

12月定例会 田中市長の行政報告

1 市制五周年 記念式典

誰もが住みたくなくなる、
住んでよかったまちづく
りを進めてきました。二
月二十日に記念式典を「ド
リームコア中央」の玉穂
総合会館で行います。

2 市民憲章の制定

市制五周年に合わせ、
公募委員を交えた「市民
憲章制定委員会」等で協
議を重ね、市民参加と明
るいまちづくりに向けた
努力目標として、市にふ
さわしい市民憲章を制定
します。

3 子宮頸がん予防ワク チン公費助成事業

県医師会や中巨摩医師
会のご理解・協力をいた
だき、ワクチン接種の重
要性や制度の周知を図り
接種機会の提供に努めて
いきます。

4 救急医療情報 キット事業

民生委員のご協力で「救
急医療情報キット」を八
〇〇世帯に配布し、十一
月から運用が開始されま
した。この情報キットは、
救急時に必要な情報とし
て、本人の持病や常服薬、
かかりつけ医、及び緊急
連絡先などを一括管理、
保管し、地域高齢者を見
守る事業です。

5 清川改修工事

長年の懸案事項であつ
た東花輪駅前・上流部の
湛水被害解消のため、十
月に着工しました。全体
計画延長七〇メートル
の改修で、被害解消を目
ざします。

6 田富中学校 武道場新築工事

十月に安全祈願祭を実
施し、工事も順調に進ん
でいます。柔道場・剣道
場を一面ずつ整備し、多
目的な利用と、社会体育
振興活用に期待します。

7 火災報知機設置 の義務化

各戸にチラシを配布し
普及促進を図っています
が、普及率は三四・一％
と低い状態です。非課税
高齢者世帯に対し、設置
促進を図っていきます。

8 小中学校 エアコン設置

昨年の夏は記録的な暑
さで、運動会・学園祭の
実施も危ぶまれる状態で
した。中央市PTA連絡
協議会からも各教室にエ
アコンを設置して欲しい
と要望もあり、小中学校
の現地調査・システム検討・
ランニングコストを調査
し、空調施設整備検討業
務を実施していきます。

一般質問

5 議員が登壇

12月 定例会

十二月定例会では五人の議員が一般質問に立ち、
十三項目にわたって市の方針をただしました。
この記事は質問・答弁を要約したものです。
詳細は市ホームページの議会会議録をご覧ください。

建設中の中学校武道場



二〇〇九年度 普通会計決算は

小池満男 議員

ほか1件

小池議員 経常収支比率は財政の弾力性を示すもので、税収など一般財源に占める人件費・公債費・扶助費など、支出が義務付けられた経費の比率で、これが高いほど市が自由

に使える金が少ないといわれる。景気低迷による法人税の減少で財政硬直化が進み、将来的な財政負担としての地方債の残高が気になる。昨年度の経常収支比率と、過去三年間の推移、中長期的な取り組み計画を問う。

▲ あらゆる手段で 行財政改革を推進

市長 市の平成二十一年度普通会計における経常収支比率は八五・八％、十八年度は八〇・五％、十九年度は八四・四％、二十年度が八六・三％で、この三年間で五・三ポイント上昇している。

経常収支比率の抑制手段としての中長期的取り組みは、自主財源確保と歳出適正化の観点から、あらゆる手段を尽くして行財政改革に取り組んで

Q 芝生グラウンド 計画は

問 市内には球技等ができる、大規模グラウンドを兼ね備える市営広場（公園）が四カ所あるが、いずれも土だ。少子高齢化が進む中、芝生のグラウ

▲ 利用形態を含め 今後の課題

市長 田富ふるさと公園の設置当時は、芝生のグラウンドだったが、利用者が増加し、グラウンドを休ませて芝生を養生する期間がほとんどとれず、現在はグラウンドの周りにわずかに残る程度となっている。維持のための



芝生化された市営公園の現状

水やり・草取り・芝刈り・肥料散布などが必要で、維持管理費がかかること、土壌改良が必要になることもある。グラウンドの利用形態を含め、芝生グラウンドの整備は、今後の課題と考えている。

Q 中央市を耕す TPP対策は



名執義高 議員

名執義議員 国はTPP（環太平洋経済連携協定）参加を表明したが、明治維新などに続く「第二の開国」ともいわれる。TPPによる市農業者関係に与える影響

市の食料自給率調査 中小規模農家や畜産農家などの補償制度 高齢化が進んでいる農業従事者や、若者の新規就農者の離農を加速する事態も懸念される。都市農業を有機農業で推進 クラインガルテンの取

▲ 高付加価値農産物の ブランド化を推進

市長 貿易自由化の影響を受ける農業分野は、輸入農産物との価格競争力に対抗できず、壊滅的な打撃を受け、米の生産農家へのダメージも大きい。

り組み 生ごみや落ち葉を堆肥にしたエコ市民農園 農業の中での地域資源掘り起こし 子どもたちの食農教育 以上、これらについて市の考えを伺う。

地産地消・安心安全を消費者にPRし、高付加価値農産物のブランド化の推進を図りたい。地域食料自給率はカロリーベースで約二〇％。米・野菜の自給率は高く、肉類等の自給率は低い。

国の農業基本計画の中で議論されるが、市の農家に対する制度は、米の所得補償制度がある。市単独では、米の生産調整に協力された農家で、国の自給率向上事業対象外になった農家の補償があり、畜産農家には国・県の支

援保障制度がある。減農薬栽培・有機栽培の関心を一層深める取り組みとして、地産地象の推進を継続強化し、都市型農業に有機栽培を定着させていきたい。

クラインガルテン・エコ市民農園は、都市農業を有機栽培で推進し、シルクふれんどりを拠点に、特定農地の貸し付けや、滞在型市民農園の推進、消費者が農業体験を実践し、農園利用方式による市民農園の取り組みを検討したい。

地域農産物を使った食品加工の開発・販路拡大、農業体験を通じた地域の景観・伝統文化を活用した観光農業など、地域雇用・所得安定を確保できる取り組みができないか検討したい。

教育長 食と農を教育現場で学び、体験することとは生きる力をはぐくむ教育に重要だ。体験学習でコメ作りなど、地産地象の観点で給食の食材にも利用している。今後とも食農教育を推進していきたい。

Q 定員、人件費、人事評価は

ほか3件



長沼辰幸 議員

況は。

A 試行用、人事評価マニュアルを作成

長沼議員 定員適正化の現状は。人件費の抑制は。強化部門と縮小部門に柔軟な人事対応を。他の市町村との連携は。人事評価制度の進捗状況

市長 二十二年四月現在の職員は二五三人。三年間に四人削減。臨時職員一五五人、嘱託一人。保育所、給食施設は運営形態を検討中。

Q 子宮頸がん予防ワクチン 助成を高校生までに

ほか1件



設楽愛子 議員

反響が大きく、喜びの声が聞かれる。

予防ワクチンの接種率は、来年度の接種率目標は、その他の計画は、助成対象を高校生まで拡大を。

成人の日に予防ワクチン無料券の配付を。

設楽議員 子宮頸がんは、近年、若い女性の罹患が急増し、死亡率も高い。ウィルス感染が主要因のため、ワクチン接種で予防が可能。本市においても、七月から助成が実施された。

ノ一残業デー、民間活力導入等で抑制に努める。増員と合理化の両面に努める。来年度、南アルプス市と人事交流の予定。人事評価マニュアルを作成、二十三年度からの試行を目指している。

Q 入札制度改革は

問 一般競争入札は五千万円以上が対象。引き下げの予定は。今後の試行拡大は。業者の固定化、限定化の心配はないか。

A 見直しを進める

市長 本年度、事後審査型一般競争入札が六件。総合評価方式入札が二件。今後は、一般競争入札の適用範囲を拡大し、二十四年度までに金額の引き下げ等を行う予定。入札要綱に則り指名している。固定化、限定化には繋がらないと考えている。

Q 婚活の推進は

問 結婚年齢の上昇、未婚者の高齢化が進行し

A 対象者の接種率一〇〇%が目標

市長 十一月二十日現在接種率は八一・六%。県平均七三・八%より高い。ワクチン接種と定期検診を八五%以上実施すること、全女性の子宮頸がん予防と早期発見が可能。検診の受診率アップとワクチン接種一〇〇%をめざす。対象者への通知、専門医による講演会の実施などの啓発に努める。

県の助成要綱に合わせ、小学六年生と中学三年生

Q ふれあい介護喫茶について

問 日々の介護疲れを癒せる、近場の息抜き場所を求める声が多い。喫茶店等の協力を得て、孤立しがちな男性介護者が集い交流できる「ふれあい介護喫茶」を設け、無

ている。少子化対策には婚活の推進が必須。今後の計画は。

A 来年度から結婚相談を実施

市長 結婚相談事業を来年度から実施する予定。相談員一〇人程度を委嘱。定期的相談日を設け、パーティーやセミナーを開催したい。

Q 常永川の川底清掃を

問 自治会レベルの清掃では、川底に散乱するご

A 男性介護者の集いの場づくりを検討

市長 市の地域包括支援センターでは、家族介護者支援事業として、知識・技術習得のための教室を開催している。介護からの一時的な解放と、介護者相互の交流を図るための、日帰り研修も実施している。男性介護者の集いの場づくりは、第五期高齢者保健計画・介護保険事業計画の策定の際に、二一

A 県と協力し取り組み

市長 一級河川管理者の県に適切な対応を要請する。国交省、富士川流域河川一斉清掃の一環としても、ボランティアの協力を得て実施したい。

を把握し検討したい。無料コピー券の配付については、実施は考えていない。



介護者相互交流を図る日帰り研修

議会のうごき

10月

- 1日 共同募金運動街頭募金
- 5日 田富中学校武道館安全祈願祭・起工式
- 14日 第244回山梨県市議会議長会定期総会
- 14日 第3回民生委員推薦会
- 14日 中央市公立保育所民営化検討委員会
- 18日 中央市戦没者慰霊祭
- 21日 田富よし原処理センター特別審議会
- 24日 第4回中央市ふれあい福祉運動会
- 28日 甲府広域議員視察研修
- 29日 後期高齢者医療広域連合議会
- 29日 中央市公立保育所民営化検討委員会
- 31日 第5回中央市文化祭

11月

- 3日 稲穂まつり
- 4日 議会運営委員会
- 4日 代表者会議
- 4日 議会広報編集委員会
- 4日 公共下水道事業審議会
- 9日 命と暮らしを守る県内自治体キャラバン
- 9日 行政改革推進委員会
- 9日 市民憲章制定委員会
- 10日 中巨摩広域事務組合議会運営委員会
- 11・12日 常任委員会合同視察研修会
- 14日 第5回市民グラウンド・ゴルフ大会
- 16日 青少年健全育成推進大会
- 17日 三郡衛生組合議会運営委員会
- 18日 中央市給食施設検討委員会
- 18日 2市1町正副議長・事務局会議
- 19日 国民健康保険運営協議会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 市民憲章制定委員会
- 26日 中巨摩広域事務組合議会臨時会
- 26日 三郡衛生組合議会第3回議会定例会
- 26日 第2回青木が原ごみ処理組合議会定例会
- 29日 議会運営委員会
- 29日 会派代表者会議
- 29日 議員協議会
- 29日 第3回臨時会
- 30日 峡中地区戦没者遺族大会

12月

- 3日 中巨摩広域事務組合議会運営委員会
- 7日 第4回定例会開会
- 12日 第3回中央市社会福祉大会
- 13日 甲府広域議会運営委員会
- 16日 田富よし原処理センター特別審議会
- 16日 中央市地域公共交通活性化協議会
- 16日 水道審議会
- 17日 第4回定例会閉会
- 21日 東八代広域事務組合第2回定例会
- 22日 甲府広域事務組合12月定例会
- 24日 中巨摩広域12月議会定例会



施策の進捗状況は



野中つね子 議員

ほか3件

評価制度を 試行的に導入

野中議員 行財政改革と意識改革は。人材育成戦略は。複式簿記導入は。介護支援ボランティア制度の検討状況は。市立保育園「ちっちゃな図書館」設置の状況は。

市長 本年度、事務事業評価制度を試行的に導入。地域主権の時代に対応した企画力・専門性のある人材を育成するため、研修、交流に努める。既存の決算統計の利用、県内全市

保育園で英語 大好き事業を

問 国際化の時代、保育

この比較の観点から、当面は単式簿記・総務省改訂モデルで対応。

第五期高齢者保健計画・介護保険事業計画の策定の際に検討する。ニーズを把握するための、アンケート事業費を今回の補正予算に計上した。

子ども読書活動推進計画に則り、市立図書館と連携し、保育園の図書環境の充実を図っていく。

うつ対策に精神 対話士の活用を

問 一二年連続で自殺者が年三万人を超える。

園で幼少期から英語に親しむ取り組みを。心を育てる幼児教育の充実を。

現時点では考えていない。

市長 現時点では、保育園での英語教育は考えていない。今後の検討課題としたい。自然体験・伝承あそび等を通じ、心を育てる教育に努める。

必要に応じ検討

産後のうつ、子育て中の母親支援の強化策などに「精神対話士」を活用できないか。

「精神対話士」の学校への配置を。

市長 母親学級で、カウンセリングを実施。「精神対話士」の活用も、必要に応じ検討する。

教育長 スクールカウンセラーを週一回中学校、小学校にも派遣できる。今後、検討したい。

サインを 見逃さない

問 群馬県の小学校で痛ましい自殺があった。中央市の学校で、まさかを出さない取り組みを願う。

教育長 小さな心の叫びを見のがさないことが大切。群馬の事件以降、八校会で教員、カウンセラー、関係者が連携し根絶に取り組むよう指導した。

いじめ根絶の 取り組みを

常任委員会レポート

総務教育常任委員会

▼職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員給与条例の改正
総務課

問 勤務時間を短縮すると、正規職員の実質賃金は増だが、臨時・パート職員はどうなるのか。

答 正規職員の給料月額を基準として積算するので増となるが、時間数が少ないため数字として現れない。

問 閉庁時間が早まることにより、住民サービスは低下しないか。

答 以前の終業時間に戻るのに影響は少ないが、事前周知に努める。

▼生活安全条例中改正
総務課

問 犯罪被害者に見舞金等を行っている他市事例もあるが、本市の具体的な施策は。
答 プライバシー問題を

考慮すると、見舞金制度も良いとは言えない。今後、担当課を明確にし、具体的な施策を考える。

問 犯罪被害者等に対する支援は、防止の支援もするのか。
答 対象は、被害を受けた者とその家族。

▼一般会計補正予算（第3号）
議会事務局

問 本市と他市の議員任期



5年間の継続が決まったシルクの里振興公社

末手当の支給額および支給率の状況は。
答 支給額は議員報酬額が違い比較できない。支給率は大月市、上野原市を除く市と同じ。

総務課
問 住居変更表示委託とはなにか。
答 区画整理事業の換地計画に伴う変更。

問 消防団員充足率は。
答 条例定員四六五人、現団員四三二人で充足率九二・九％。内訳は玉穂地区一〇二人、田富地区一七五人、豊富地区一五五人。

問 欠員団員の補充の取り組みは。
答 現団員、自治会長等に要請しているが、確保は難しい。

問 給与費明細書の一般職の時間外勤務手当の算出根拠は。
答 各課現状にあわせ給料の七、十％で算出。

財政課

問 市税が年々減収しているが、その推移は。
答 平成二十年が四九億七千六百万円、二十一年が四五億九千三百万円、二十二年が四三億二千万円で、徴収率も下がっている。

問 厳しい財政状況だが、一般財源確保の取り組みは。
答 行財政改革の推進、滞納整理の強化。

問 市政功労者の記念品が増えた理由と、功労者決定基準は。
答 表彰基準に基づき推薦をいただき、表彰審査委員会決定する。現在、特別功労者表彰九人、功労者表彰二〇人の推薦がある。当初予算で二〇人分を予算化、不足分を今回補正した。

問 教育総務課
中学校語学研修の事業内容は。
答 ほぼ例年と同じ。研修場所はオーストラリア・ケアンズを予定。実施時期は、夏休みを利用し十一泊十三日程度。募集人員は十二人程度。

問 中学校語学研修は、毎年オーストラリア・ケアンズに選定している理由は。
答 気候・治安、移動時間など研修条件が良い。さらに日本からの留学生も多く、受け入れ態勢が整っており、近くに世界遺産が二カ所もある。

問 事務局費委託料の内容は。
答 小中学校空調設備整備基本計画の策定業務委託。各学校の設備の現状把握と整備・維持管理コストの算出。

問 エアコン設置も必要だが、地球温暖化や省エネなどの関連策は。
答 本年度実施のグリーンカーテン・散水・水筒の持参は引き続き実施する。

▼指定管理者の指定
政策秘書課

問 指定管理者制度導入による各施設の具体的な成果は。
答 与一弓道場は、ふれんどりいとの一体的管理で、県内外から合宿の受け入れが可能で、宿泊客増に繋がった。道の駅は

問 指定管理者制度導入による各施設の具体的な成果は。
答 与一弓道場は、ふれんどりいとの一体的管理で、県内外から合宿の受け入れが可能で、宿泊客増に繋がった。道の駅は

問 指定期間五年は変更できるのか。
答 一般的に三、五年の指定が多い。導入成果を得るには五年間の指定が必要。

問 厳しい財政状況の中で多様化する教育ニーズにどのような教育や予算配分を考えるのか。
答 教育ニーズに対応した事業の実施や予算配分をしていきたい。

問 図書館駐車場整備で、盛土は何を使うのか。
答 神明団地と稚蚕飼育場にストックしてあるものを使う予定。

問 どの程度の経費削減になるのか。
答 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 厳しい財政状況の中で多様化する教育ニーズにどのような教育や予算配分を考えるのか。
答 教育ニーズに対応した事業の実施や予算配分をしていきたい。

問 図書館駐車場整備で、盛土は何を使うのか。
答 神明団地と稚蚕飼育場にストックしてあるものを使う予定。

問 どの程度の経費削減になるのか。
答 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

問 購入費分が削減。

総括質疑
教育委員会

厚生常任委員会

▼一般会計補正予算 (第3号)

収納課

問 税収の落ち込みが著しい。徴収率の状況は。

答 滞納繰越にかかる徴収率は二三%、前年と同様の徴収率。

問 滞納額は、増加しているのか。

答 現年課税分の徴収に重点を置いているため、滞納額は変わらない。

福祉課

問 生活保護世帯の状況は。

答 本年四月一日現在、六〇世帯七八人の保護世帯が、十月一日現在で六九世帯九二人に増加。

子育て支援課

問 児童福祉総務費のうち、次世代育成支援対策事業の内容は。

答 地域子育て拠点事業二カ所(まみい保育園、イツモア内)、一時預かり事業(まみい保育園)。

問

私立保育所措置事業の内容は。

答 〇歳児十一人増に伴う運営費の増。

▼国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)

保険課

問 高額療養費の対象者の状況は。

答 増加傾向にある。疾患別では人工透析、悪性新生物が増え、一人あたり数百万円から一千万円の医療費。

問 一般管理費委託料の内容は。

答 レセプト審査システムの導入で、紙ベースからデータベースになる。

問 システム導入に伴い、既存の資格システム等も変更する。

問 年々増加する医療費の抑制対策は。

答 早期発見・早期治療で抑制できる。特定健診受診率向上や、コンビ二受診の抑制啓発、ジェネリック薬品の活用促進。

問

加入者の状況は。

答 平成十八年一〇、七五一人、十九年一〇、二二四人、二十年八、二二三人、二十一年八、二一九人。二十年以降から七五歳以上の高齢者は、後期高齢者医療へ移行。

▼介護保険特別会計補正予算 (第3号)

高齢介護課

問 居宅介護サービス計画給付費の内容は。

答 ケアマネージャーが作成するケアプラン作成料。

問 介護サービス等諸費で、サービスごとに項目が分かれるのは。

答 介護サービス費の積算、特定財源の充当など事務処理のため。

▼地域包括支援センター特別会計補正予算 (第1号)

総括質疑 (第1号)

保健福祉部

問 平成二十二年度の国の補正予算内容をどの程度掌握しているか。

答 担当課で概要は把握、詳細は県が開催する事務担当者打合会で説明される。

問 補正予算関連事業の前倒し対応は。

答 補正予算内容を確認してから対応。

問 ワクチン接種事業は、疾病予防の観点から積極的な対応を望む。

答 事業実施は、自主財

源が必要。財政課と協議し検討する。

問 国の補正予算に子育てに関する新たな交付金も盛り込まれている、積極的な活用を望む。

答 十分精査する中で対応していく。



ガン検診の様子

産業土木常任委員会

▼一般会計補正予算 (第3号)

都市計画課

問 JR東花輪駅前トイレの今後の管理は。

答 清掃業務を週三回(月・水・金)シルバー人材センターに委託。

建設課

問 木造住宅耐震化促進事業の内容は。

答 昭和五十六年以前に建築した建物で、耐震基

準(〇・七)に満たない住宅の改修費用補助金、一棟分。

問 補助内容は。

答 建替え・改修・シエルト設置が対象。建替え・改修は補助事業費の上限が一〇〇万円、県三分の一、市三分の一、個人三分の一負担。シエルト設置は補助事業費の上限三六万円で負担率は同じ。補助事業費の上限を超えるものは、すべて個人負担。補助事業は二十三年で終了。

問 木造住宅耐震診断の状況は。

答 当初予算に十六件分の予算を計上。診断は、一件当たり三万円。

▼簡易水道事業特別会計補正予算 (第3号)

▼下水道事業特別会計補正予算 (第4号)

▼農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)

▼土地区画整理事業特別会計補正予算 (第2号)

都市計画課

問 水路改修工事で、改修後の残地(図面上三角地)の処理は。

答 残地は従来から民地

以前は河川区域で、一級から普通河川になり指定がなくなった。

▼水道事業会計補正予算 (第3号)

水道課

問 コンビニ収納一件あたりの手数料は。

答 六〇円+消費税。

▼道路線廃止建設課

問 道路台帳の補正の予定は。

答 二十三年実施予定。GIS事業の実施状況により変わる。

総括質疑

建設部

問 GIS事業は、道路台帳・下水道台帳・農道台帳などの地図台帳を統合することが。

答 統合ではない。各台帳のデータを管理し、データを一つの地図に情報として取り込む。

問 公共下水道費の委託料、工事請負費の増減理由は。

答 委託料は、詳細設計の実績による減額、工事請負費は、既工事の増額によるもの。

第3回臨時会

平成二十二年第三回臨時会が、十一月二十九日に開催されました。

職員給与条例の改正をはじめとする条例案件四件が提案され、審議の結果、原案どおり可決しました。

■条例改正

- ・職員給与条例等の改正
人事院勧告および山梨県人事委員会の勧告にかんがみ、四〇歳代以上の職員に対しての給料月額および職員に対して十二月に支給する期末・勤勉手当の額を減額するための条例改正。（給料月額〇・一％減額・期末・勤勉手当〇・二カ月分減額）
- ・教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の改正
職員の期末・勤勉手当の改定にかんがみ、教育長に対して支給する期末手当の額を減額するための条例改正。（〇・二カ月分減額）
- ・議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正
職員の期末・勤勉手当の改定にかんがみ、議会議員に対して支給する期末手当の額を減額するための条例改正。（〇・一五カ月分減額）

- ・特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の改正
職員の期末・勤勉手当の改定にかんがみ、市長・副市長に対して支給する期末手当の額を減額するための条例改正。（〇・二カ月分減額）

視察報告

視察場所 ハツ場ダム（群馬県吾妻郡長野原町）

視察日時 平成二十二年十一月十一日（木）
～十二日（金）

昨今、テレビなどで注目を浴びているハツ場ダム、昭和四十五年に事業着手し、利根川流域では三番目に大きなダムで、水没予定世帯三四〇世帯の約三割は、すでに他市町村へと移転しているそうです。新政権の「コンクリートから人へ」のスローガンの下、建設中止が表明されました。しかし一転、一年余りで建設中止の撤回が国土交通相より明言されました、二転三転する政府の動向に、移転や代替地の問題で現在この地に住みまた、旅館などの商売をしている住民はどれほど振り回されているのか、困惑していることでしょう。



栗の木を使用した歩道



ハツ場館（資料館）の視察

本市では、ここまでの巨大な公共工事はあまり考えられませんが、道路の拡張や河川の改修、都市開発等、少なからず住民の皆さまと生活・財産にかかわる工事等が考えられます。

本市でも市民生活を最優先に、我々議員一同、しっかりと行政の動向を見据え、市の発展に寄与していくことが重要と、改めて考えさせられました。

平成23年3月定例会の予定

3月議会は次のとおり
予定となります。お気軽に
傍聴においでください。

▼開会

8日（火）午前10時

総務教育常任委員会

9日（水）午前9時30分

厚生常任委員会

11日（金）午前9時30分

産業土木常任委員会

14日（月）午前9時30分

代表質問

15日（火）午前10時

一般質問

16日（水）午前10時

予算特別委員会

17日（木）午前9時30分

18日（金）午前9時30分

22日（火）午前9時30分

▼閉会

24日（木）午後2時

日程等は定例会前の議会運営委員会で決定し、変更される場合がありますのでご了承ください。

新しい議員が決まりました

任期：平成23年2月20日～平成27年2月19日

平成23年2月19日中央市議会第2期議員の任期が終了しました。議会活動に対して、ご理解ご協力賜り深く感謝申し上げます。
1月30日に、中央市議会議員選挙の投開票が行われ、新しい18名の議員が当選しました。
中央市制5周年となる2月20日から新しい議会がスタートしました。今後も、よろしくお願いいたします。



小池 章治
白井阿原683



田中 輝美
上三條90-26



木下 友貴
井之口597



伊藤 公夫
中樞1325



名執 義高
山之神4-91



河西 茂
布施1833



田中 健夫
東花輪372



小池 満男
布施1988



小沢 治
木原869



石原 芳次
成島2495-1



保坂 武
西花輪421



設楽 愛子
東花輪2054-8



福田 清美
大鳥居3018



井口 貢
井之口603



山本 国臣
西花輪2628-1



田中 一臣
上三條522



大沼 芳樹
浅利2390



山村 一
極楽寺427

掲載順は期別・年齢順です。

市民の談話室



「第5回中央市文化祭」 開催・運営に参加して

成島 葉袋 誠



活動を進めております。

私は平成二十年に
定年退職しました。
人生第二の生涯教育
との思いから文化協
会に入部、充実した

このこともあり「第5回中央市文化祭」
の「作品搬入・式典・各部展示作品閲覧・
後片づけ」に初めて参加しました。各部の
丹精込めた展示作品は素晴らしい、レベル
の高さに感銘、深く感動しました。

そんな中央市の文化祭を進めながら気づ
き、残念に思ったことがあります。

・開催期間が二日間と短いこと

・祝日に開催されないこと

・文化祭の開催案内が市のホームページに
掲示されていないことなどです。

他の市や町の文化祭について、インター
ネットで調べてみたところ、ほとんどが、
・開催期間は、『文化の日』を含め四日間
・文化祭の開催案内がホームページに掲載
されていました。

市民参加の素晴らしい作品が揃い、充実
した「中央市文化祭」です。他の市や町同
様、もっと市民に発信していただき、文化
を楽しんでもらえる環境づくりに努めて欲
しいと思いました。

感動、そしてありがとう

リバーサイド第二 有泉 誠



先日、東京で行わ
れた「春高バレー」
の応援に行ってきた
した。今まで三月開
催の大会が、今回か
ら一月に行われ、三
年生も参加できる大
会となり、私の娘も山梨県代表として出場
しましたので、応援してきました。

結果は一回戦・二回戦と勝ち、三回戦で
惜敗、三年生最後のバレーボールが終わっ
たこととなります。その瞬間は、決して忘
れることのできない感動となり、今も鮮明
に蘇ります。

子どもたちみんなが、今までの思いが込
み上げ、選手それぞれが涙を流していまし
た。私の娘も天を仰ぎ、涙をこらえていま
したが、こらえきれずに泣いている姿を見
て、私も涙があふれてきました。

私には二人の娘がいて、二人とも小学校
の低学年からバレーを始め、県内外の大会
で優秀な成績を収めてきました。これも自
分ひとりの力ではなく、多くの人の励まし
や、一緒にプレーした仲間のおかげと思っ
ています。また、多くのことを教えてくれ
た先生や、指導者の方にも感謝したいと思
います。

私自身も子どもたちの活躍が励みとなり
ました。小学校から高校まで常にバレーボ
ールに携わり、一緒に応援したことを思い
出にしていきたいと思っています。

編集後記

初めて、田富町議員になって、議会広報
編集委員に選任され、それから、中央市議
会議員になってからも、編集委員に選任さ
れ、八年が経過しました。

今回、任期中の最後の発行となる「議会
だより」の編集後記を書くことになったの
は、運命的なものを感じます。私にとって
おそらく、これが中央市議会での最後の手
記となるでしょう。

今まで、議会の内容を、市民に分かりや
すく伝えるために、編集委員全員で努力を
してきました。しかし、他の市町村の中で
優れていると言えるまでになっていないの
が現実です。限られた予算の中で市民の皆
さんに、議会の動きが一目でわかるような
「議会だより」を作ること、大変なこと
だと思います。これからの編集委員の皆さ
まの、活躍を祈ります。

「一瀬 明」

議会広報編集委員会

委員長 田中 一臣

副委員長 一瀬 明

委員 名執 義高

野中つね子 福田 清美

小池 満男